

個人質問

議会事務局 処理欄	令和 8 年 2 月 4 日	12 時 23 分 受付
	質問 順位	第 6 番

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 福本貴久

一般質問の通告について

令和 8 年第 1 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 第 6 次武豊町総合計画後期基本計画などについて	<p>【趣旨説明】</p> <p>令和 8 年度から第 6 次武豊町総合計画が「後期基本計画」へと移行する。重点施策方針 1 は「選ばれるまちへ」と改められ、定住促進のみならず、企業進出の促進や地域の魅力の再発見に重きを置く姿勢が鮮明になっている。また、こども家庭庁の設置や社会情勢の変化を受け、重点施策方針 2 では「こどもまんなか社会」の実現が明記された。</p> <p>そこで以下質問する。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①前期基本計画の「住みよいから、住みたいまちへ」から、後期では「選ばれるまちへ」と名称と方針が変更された。単なる住環境の整備にとどまらず、産業基盤の強化や企業進出を戦略的に展開するとしているが、近隣市町との差別化を含め、具体的にどのような戦略を持って施策を展開していくのか伺う。</p> <p>②後期基本計画では、重点施策方針 2 に「こどもまんなか社会」の実現が掲げられ、実施計画には「こども計画」の策定や「こども誰でも通園制度」などが盛り込まれた。新規事業の導入にあたり、本町はどのような課題の解決を目指し、町民(こども・子育て世代)の利便性や満足度が、どのように向上することを期待しているのか伺う。</p>
2. 新年度予算案などについて(令和 8 年度)	<p>【趣旨説明】</p> <p>いま、私たちの社会は大きな転換点を迎えている。止まらない物価高騰、深刻さを増す人口減少、そしてデジタル技術の急速な進展など、これまでの「当たり前」が通用しない時代となってきた。こうした中、令和 8 年度予算案は、変化の波に飲み込まれるのではなく、武豊町の未来を切り拓き、町民の暮らしを守り抜くための予算案でなければならない。</p> <p>しかし、武豊町の財源や人員には限りがある。今後も安定して質の高い行政サービスを提供し続けるためには、単に「新しいことを始める」だけでなく、それが本当に必要な取り組みなのか、将来の負担を増やさないかという視点での見極めが不可欠である。</p> <p>そこで今回の一般質問では、未来の武豊町を形づくるうえでカギとなる新たな取り組みや事業が、限られた財源と人員の中で、必要性和妥当性のある事業となっているのかを確認し、あわせて、町民がその内容や効果を理解し、納得できる予算となっているのかという観点から、以下の点について質問する。</p>

【質問事項】

- ①物価高騰や人口減少、デジタル化の進展といった環境変化を踏まえ、令和8年度予算案にはどのような「未来を見据えた新しい取り組み」が盛り込まれているのか。その全体像とねらいについて伺う。
- ②新規事業について、それが本町の具体的な課題（子育て、地域福祉、地域経済、デジタル化など）のどの部分の解決に役立つのか。また、他自治体にはない武豊町ならではの工夫や特色があれば、その根拠や背景とあわせて説明を求める。
- ③将来にわたり健全な財政を維持していくためには、新たな取り組みを進めるにあたり、町民への過度な負担とならないようにすることが重要である。財源確保策やコスト削減の取組について、本予算にどのように反映されているのか伺う。
- ④新規事業や大きな投資を伴う事業ほど、町民の理解が欠かせない。広報やインターネットでの発信にとどまらず、事業の「必要性」だけでなく「リスクや負担」も含めて、町民が自分事として納得できるような丁寧な説明が必要であると考えるが、今後どのように実践していくのか伺う。
- ⑤新たな事業を進める一方で、見直し・縮小・廃止した事業はどの程度あるのか（事業名・額）。その結果として、将来の財政負担や職員の業務量が過度に増えていないか。「始める」だけでなく「やめる・減らす」という判断も含めた、予算と業務量のバランスについて考えを伺う。